

法蔵館書店ニュース 4月

目次

話題の本	P1
法蔵館新刊案内	P2
法蔵館重版案内	P2
法蔵館刊行予定案内	P3~4
法蔵館書店新着案内	P4~11

特集1:『一遍上人』関連書籍新刊発売特集	P12~13
特集2:『教行信証』関連新刊続々	P14
お知らせ	P15
法蔵館書店ベスト10	
メール配信サービスご案内	P16

★お知らせ★ 4、5月の書店休業日

4月のお休み：10日・17日・24日 ※4/3(日)は営業いたします

5月のお休み：1日・8日・15日・22日・29日

話題の本

●週刊 読書人 (2022/3/18)・●中外日報 (2022/2/4)

【シリーズ宗教と差別 1】『差別の構造と国民国家—宗教と公共性』

磯前順一、吉村智博、浅居 明彦監修・上村 静、荻田真司、川村覚文、関口 寛、寺戸淳子、山本昭宏編・A5判・324頁・3,080円・ISBN:978-4-8318-5721-7

●中外日報 (2022/3/11)

『中世真宗の儀礼と空間』

山田雅教著・A5判・380頁・6,820円・ISBN:978-4-8318-7924-0

●中外日報 (2022/3/4)

【龍谷大学ジェンダーと宗教研究叢書 1】

シリーズ近代日本の仏教ジャーナリズム 3

『真宗女性教化雑誌の諸相』

中西直樹著・A5判・442頁・6,600円・ISBN:978-4-8318-5573-2

●月刊住職 3月号 (2022/3/1)

『石山合戦を読み直す—軍記で読み解く日本史』

塩谷菊美著・四六判・272頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-6268-6

●佛教學セミナー 第114号 (2021/12/30)

『パーリ語文法—仏典の用例に学ぶ』

シヨバ・ラニ・ダシュ著・A5判・328頁・4,400円・ISBN:978-4-8318-7735-2

●佛教史學研究 第63巻 第1号 (2020/11/25)

『近代の仏教思想と日本主義』

石井公成監修・近藤俊太郎、名和達宣編・A5判・572頁・7,150円・ISBN:978-4-8318-5560-2

『考証 日本靈異記 上、中』

[上] 本郷真紹監修・山本 崇編・A5判・424頁・8,800円・ISBN:978-4-8318-5697-5

[中] 本郷真紹監修・駒井 匠編・A5判・528頁・11,000円・ISBN:978-4-8318-5698-2

『戦後歴史学と日本仏教』

オリオン・クラウタウ 編・A5判・381頁・4,180円・ISBN:978-4-8318-5544-2

法蔵館新刊案内

◆近現代日本とエホバの証人

【宗教社会学】

——その歴史的展開

山口瑞穂著・四六判・332頁・3,300円・ISBN:978-4-8318-5724-8

エホバの証人は日本においていかに展開したのか。いまだ学術的な検討がなされていないその課題に挑み、通史的に論じた画期的成果。

■目次

- 序章 外来のキリスト教系新宗教の分析視座
- 第一章 エホバの証人の救済観と組織観
- 第二章 灯台社の時代：一九二六年から一九四七年
- 第三章 不確定の時代：一九四八年から一九七〇年代半ばまで ほか

ためし読み



岡山大学文学部叢書1

【日本史】

◆憑霊信仰と日本中世社会

徳永誓子著・A5判・296頁・3,850円・ISBN:978-4-8318-6071-2

人はモノノケをいかに調伏したのか？ 憑霊を利用したヨリマシ加持をめぐる仏教と神祇信仰の交錯、それに関わった宗教者の展開を考察。

■目次

- 第一章 古代・中世の験者
- 第二章 護法童子考
- 第三章 梓弓と鼓
- 第四章 ヨリマシと験者
- 第五章 諸天・神祇と念仏—『融通念仏縁起絵巻』毘沙門天霊験譚の分析— ほか

ためし読み



法蔵館重版案内

◆北朝仏教造像銘研究

2刷

【中国仏教】

倉本尚徳著・A5判・730頁・27,500円・ISBN:978-4-8318-7444-3

中国仏教黎明期における、地域社会の信仰活動の実態。信仰の記録媒体ともいえる造像銘から忘れられた信仰の記録を読み解く。

■目次

- 第一部 邑義造像銘の概要とその地域的特徴
 - 第一章 北朝邑義造像銘の概要と感応思想
 - 第二章 義邑の地域的特徴について
 - 第三章 北朝時代の関中における道仏二教の義邑について
- 第二部 造像銘と仏教經典 ほか



〈2022年5月 刊行予定〉

◆劉裕——江南の英雄 宋の武帝 法蔵館文庫 【中国史】

吉川忠夫著・文庫判・254頁・1,100円・ISBN:978-4-8318-2633-6

微賤の武人・劉裕は行動力と現実主義によって皇帝となったが、即位後その生彩に翳りが——。南朝の権力機構の本質を明らかにする好著。

◆一遍語録を読む 法蔵館文庫 【仏教／時宗】

金井清光、梅谷繁樹著・長澤昌幸解説・文庫判・284頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2634-3

一切を捨てた「捨聖」一遍。その思想的背景と生涯を法語から読み解く。巻末では一遍の和讃である「別願和讃」を『日葡辞書』などを用いて詳細に解説。

◆祭祀と供犠 【民俗／宗教】

——日本人の自然観・動物観 法蔵館文庫

中村生雄著・赤坂憲雄解説・文庫判・418頁・1,650円・ISBN:978-4-8318-2635-0

動物を「神への捧げもの」とする西洋の供犠との対比で日本の供養文化を論じ、殺生・肉食禁止と宗教の関わりに光を当てた名著が文庫化。

◆現代語訳 一遍上人縁起絵 全十巻 【仏教／時宗】

『一遍上人縁起絵』現代語訳研究会編・A5判・224頁・2,750円・ISBN:978-4-8318-7586-0

時宗教団において、一遍と二祖他阿弥陀仏真教の正当な伝記として、国宝『一遍聖絵』よりも重要視される『一遍上人縁起絵』（『遊行上人縁起絵』）全十巻。

その詞書のすべてをはじめて現代語訳。原文と詳細な語註も併せて収録。

◆現代語訳 他阿上人法語 【仏教／時宗】

『他阿上人法語』現代語訳研究会編・A5判・516頁・3,850円・ISBN:978-4-8318-7587-7

時宗教団の宗祖一遍につづく二祖他阿弥陀仏真教が残した消息法語および和歌を収録編集した『他阿上人法語』全八巻。そのうち、和歌を除く七巻のすべてをはじめて現代語訳。原文と詳細な語註も併せて収録。

◆親鸞 左訓・字訓・語訓辞典 【仏教／真宗】

田代俊孝編・四六判・予210頁・3,300円・ISBN:978-4-8318-7027-8

親鸞聖人自身の言葉による真宗用語辞典が誕生！ 親鸞聖人の著書の中に記された語註や用語説明を丹念に集めた、聖人の言葉・遣い方の意図を知ることができる辞典。

◆「たすけたまへ」の浄土教——三業帰命説の源泉と展開

井上見淳著・A5判・416頁・6,600円・ISBN:978-4-8318-7926-4

【仏教／真宗】

西本願寺史上最大の異安心論争「三業惑乱」は、一宗派での一時の教義論争ではなく、蓮如から近代までの浄土真宗の思想の根幹にかかわる大問題であった！

◆中国の水の思想

蜂屋邦夫著・四六判・426頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-7754-3

【中国思想】

水のように生きる——。人生のはかなさや自由なあり方など、様々に喩えられる「水」。中国古代の人々は「水」をどのように捉えてきたのか？

◆中国の水の物語——神話と歴史

蜂屋邦夫著・四六判・226頁・1,540円・ISBN:978-4-8318-7755-0

【中国史／思想】

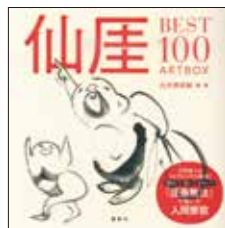
水とともに生きる——。水にまつわる神話・事蹟が豊富な中国の歴史は、水の歴史物語でもあった。人々は水とどのように関わってきたのであろうか？

法 蔵 館 書 店 新 着 案 内

◆仙厓 BEST100 ARTBOX

出光美術館編著・15cm×15cm・209頁・2,750円〈講談社〉

「面白い」「深い」「かわいい」……「厓画無法」で説いた人間賛歌。生涯に二千点にも及ぶ作品を残したといわれる仙厓義梵(1750-1837)。禅画の枠を超えた、「ゆるふわ」な世界観で、人生の機微とユーモアがあふれるその画や書は多くの人々を魅了し続けています。出光興産の創業者・出光佐三氏(1885-1981)は生涯をかけて作品を収集し、一千点あまりの日本最大の質と量を誇る仙厓作品のコレクションを築きました。その膨大なコレクションから、美術館が厳選し、解説。ベストオブベストを紹介します。



◆水木しげるの大人の塗り絵 あの世紀行

水木しげる著・A4変判・63頁・1,430円〈徳間書店〉

巨匠・水木しげるが描いた日本と世界の「あの世」を彩ろう！ 絵の出来上がりをイメージして、好きな色を選び、指先を使う塗り絵は、脳を活性化させる効果があります。本書では、水木しげるが細密に描いた、日本と世界各地の「死後の世界」を塗り絵としてご用意。カラフルで幻想的な絵を自分の好みで彩色して、あなたオリジナルの「あの世」を描いてみませんか？ 鬼太郎をはじめ妖怪たちの塗り絵も特別収録！ 水木しげるの生誕100周年企画です。



◆阿弥陀経を読む——生きる道をたずねて

三浦真証著・A5判・244頁・2,200円〈仏教教育出版〉

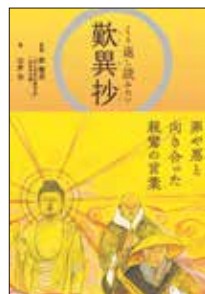
2020年度に著者が自坊での仏教講座で『阿弥陀経』の講義をしたものを、構成などを改めて講義録風にまとめたもの。精密な教学的根拠に基づいた講義だが、一般の人々に対して説かれた講義を元に行っているため、丁寧でわかりやすく、読みやすい。仏法の教えが生活を照らし、読む人の生きる道になっていくことを教える、『阿弥陀経』解説の新たな決定版。



◆くり返し読みたい 歎異抄

釈 徹宗監修・臼井 治画・四六判・158頁・1,320円〈リベラル社〉

「無人島に一冊持っていくなら『歎異抄』」と司馬遼太郎に愛され、多くの知識人を今もお惹きつけてやまない『歎異抄』。『歎異抄』の分かりやすい現代語訳と、親鸞の言葉を引き立てる日本画で彩る名言集。厳選した68の親鸞の言葉。親鸞が作者唯円(ゆいえん)に語ったメッセージが生き生きと綴られています。臼井治画伯による渾身の日本画にも注目。



◆命輝く 真宗の肝要に触れる

北村文雄著・A5判・88頁・1,100円〈永田文昌堂〉

真宗木辺派本山錦織寺の教学伝道部長を務めた著者が、真宗の教えをできるだけ平易な表現で総合的に解説した手引書。主な内容として、「真宗における行・信」「七高僧の教義概観」「真宗別伝・真意を尋ねて」など。



◆あっけら閑

出口湛龍著・四六判・186頁・1,100円〈講談社エディトリアル〉

5年前にがんが見つかり、医師に余命宣告されて、死というものを実感させられた——。がんの告知を受けた僧侶が、病を抱えながら暮らす日々を綴る。講話集も収録。



いのち

◆今、ここに在る身命・続

藤田徹文著・四六判・200頁・1,980円〈探究社〉

著者が自らの人生を「学生期(～29歳)」、「家住期(30～48歳)」、「遊行期(49～68歳)」、「林住期(69歳～)」として、著者自身が自らの身命の歩みを振り返り、身命の根本である不可思議の大きな「はたらき」について語る。



伝道ブックス85

◆南無阿弥陀仏の道

——『教行信証』『総序』をたずねて

宗 正元著・新書判・59頁・275円〈東本願寺出版〉

「南無阿弥陀仏の仏法に出遇わせていただいたご縁をふり返ると、よきひと、よき友が思い起こされてくる」……。こう語る著者とともに、先生方や田舎の人びと、苦悩の現実を担い生きた祖先が「念仏申せ」と勧める声なき声を聞く。



新潮新書939

◆親鸞と道元

平岡 聡著・新書判・221頁・880円〈新潮社〉

今なお計37000の寺院数を誇る浄土真宗と曹洞宗。それぞれの宗祖である親鸞と道元は、ともに鎌倉仏教の旗手として斬新かつ独創的な思想を展開、日本仏教の行く末を大きく変えた。しかし両者を比較すると、「念仏と坐禅」「救いと悟り」など、極めて対照的。なぜここまで違うのか。多様で寛容な日本仏教の魅力に迫り、宗教の本質を問う。



◆日本近世の宗教秩序

——浄土真宗の宗旨をめぐる紛争

小林准士著・A5判・400頁・9,900円〈塙書房〉

浄土真宗の教義と派生する神祇不帰依の宗風をめぐる紛争の検討と歴史的位置づけを通じて、近世後期における宗教秩序とその動揺過程についての展望を示すことを試みる。



第三文明選書17

◆天台大師の生涯

京戸慈光著・新書判・334頁・2,200円〈第三文明社〉

中国の南北朝動乱期から隋の天下統一の時代に現れ、より重大なことは具体的現実生活の上に自己を觀つめ自己と他との行証を実現しようとした天台大師・智顗。その生涯を、「国清百録」ほかの資料を駆使して綴る。
(レグルス文庫版をハードカバーの第三文明選書として復刊)



◆法然を生きる

ひろさちや著・四六判・205頁・1,650円〈佼成出版社〉

法然上人(1133-1212)の生涯と思想を紹介しながら、その生き方や考え方が現代に生きる私たちにどのような示唆を与えてくれるのかを解明する。「いかにして仏教を人生に活かすか」を長年探究してきた著者の思索の集大成。



NHK 100分de名著

◆日蓮の手紙

植木雅俊著・A5判・103頁・600円〈NHK出版〉

数々の迫害に耐えつつ、「法華經の行者」としての生涯を貫いた日蓮。他宗や幕府を盛んに批判したため、激烈なイメージが付きまとうが、信徒たちに送った手紙には、深い思いやりや処世訓など、人間味あふれる実像がにじみ出ている。残された手紙を手がかりに、日蓮の生涯と信念を読み解く。



平凡社新書997

◆日本仏教史入門

——釈迦の教えから新宗教まで

松尾剛次著・新書判・255頁・946円〈平凡社〉

釈迦が定めた「戒律」とは違う形で独自の発展をとげてきた日本仏教は、各時代の人びとの悩みや求めに僧侶たちが応えるなかで今の姿となった。名僧の思索と、「破戒」と「戒律護持」にゆれる日本仏教の1500年を俯瞰する。



◆古代天皇と神祇の祭祀体系

岡田莊司著・A5判・343頁・10,450円〈吉川弘文館〉

平安前期から変容した祭祀制。昭和前期の「敬神論」と後期の「宗教統制論」の根源にある「循環型祭祀体系」を追究し、近代国家に組み込まれ、現代神道にも影響を与えた、律令制形成期の天皇と神祇の祭祀体系を解明する。



朝日新書848

◆死者と霊性の哲学

——ポスト近代を生き抜く仏教と神智学の智慧

末木文美士著・新書判・323頁・979円〈朝日新聞出版社〉

「近代の終焉」後、長く混沌の時代が続いている。従来 の思想史や哲学史では見逃されてきた「死者」と「霊性」という問題こそ、日本の思想で重要な役割を果たしている。19世紀以来展開された神智学の系譜にさかのぼり、仏教学の第一人者が「希望の原理」を探る。



角川ソフィア文庫J106-10

◆先祖供養と墓

五来 重著・文庫判・272頁・1,232円〈KADOKAWA〉

丹念な現地調査に基づいた民俗学の知見により、古代から現代までの日本人の死生観を考察。靈魂観や神観念の成立、その仏教化、寺院の葬送や供養の変容をたどり、宗教の根源、日本文化の本質に迫った名著。解説・碧海寿広



◆いまを生きるための宗教学

島藺 進、奥山倫明編・四六判・315頁・4,180円〈丸善出版〉

1章「宗教とはなんだろう」、2章「宗教社会学」、3章「宗教哲学」の考察を経て、三つの主要な宗教についての議論に進む。各章では、「キリスト教」、「イスラーム」、「仏教」について重要な論点を多角的に学ぶことができる。アジア地域の諸宗教についても理解を深めることができるよう、「インドの宗教」、「中国の宗教」、「日本の宗教」の章が設けられている。一般の方や初学者がすぐに宗教について学べる構成になっている。



◆インド新論理学派研究序説

和田壽弘著・A5判・253頁・22,000円〈春秋社〉

インドの六派哲学であるニヤーヤ学派とヴァイシェシカ学派の伝統を受け継ぐ形で14世紀に確立された「新ニヤーヤ」学派。今までのニヤーヤ学派とどこが違うのか。新ニヤーヤ学派の特徴を、原因と結果のような事物の論理関係を分析する際に使用される述語から示す。



◆仏教の正統と異端

——パーリ・コスモポリスの成立

馬場紀寿著・四六判・320頁・3,960円〈東京大学出版会〉

インドからスリランカ、そして東南アジアに伝わった「上座部仏教」と、日本にも伝わった「大乘仏教」という図式は近代が作りだした二分法であった。近代の分類概念を克服し、サンスクリット語とパーリ語をめぐるダイナミックなネットワークの実態から仏教史の新しい展開を切りひらく。



◆新訳 ミリнда王の問い

——ギリシア人国王とインド人仏教僧との対論

宮元啓一著・A5判・411頁・3,520円〈花伝社〉

いまなおその輝きを失うことのない仏教とインド哲学の重要古典。紀元前の仏教・インド哲学の古典的名著『ミリнда王の問い』をさらにわかりやすくし、一冊にまとめた新訳決定版。パーリ語原典からの全訳。



角川ソフィア文庫HI13-9

◆よくわかるヒンドゥー教

瓜生 中著・文庫判・253頁・1,012円〈KADOKAWA〉

ヴェーダ聖典、カースト制度、ガンジス信仰……。日本人には窺いしれない不思議に満ちている一方、輪廻や業の思想、弁才天や聖天への信仰など、共通性をもつ事柄も多いヒンドゥー教。その教えの根幹を知る入門書。



隋東都洛陽上林園翻經館沙門

げんそう

◆釈彦琮の研究

齊藤隆信著・A5判・662頁・13,200円〈臨川書店〉

北周から隋にかけて特定の学派や宗派に属することなく、半僧半官の立場で国家仏教の主要な事業に参画し、その発展に寄与した釈彦琮(557-610)。後世、師資相承を重んじる教団仏教が栄える中で埋没してしまった偉大な功績を究明し顕彰する。



講談社学術文庫2706

◆中国思想史

武内義雄著・文庫判・343頁・1,386円〈講談社〉

昭和11年(1936)に『支那思想史』の書名で刊行され、戦後は『中国思想史』と改題してたびたび再刊されて今世紀まで読み継がれてきた概説書の、初の文庫化。2千年を超える中国哲学史を、1人の学識の視野で一望する。学術文庫のロングセラー、『孫子』『墨子』『諸子百家』等の著者、浅野裕一氏(東北大学名誉教授)が巻末解説を執筆。



ちくま新書1631

◆全国水平社 1922-1942

——差別と解放の苦悩

朝治 武著・新書判・314頁・1,034円〈筑摩書房〉

全国水平社が創立されてから、2022年で100周年を迎える。その存在は20年間であった。1922年、近代日本社会に存在する部落差別からの解放を、部落民自らが求めて結成した画期的な社会運動団体「全国水平社」。戦時体制下の1942年に消滅するまでの思想、運動、人物に迫る。



集英社新書1102D

◆奈良で学ぶ 寺院建築入門

海野 聡著・新書判・250頁・1,100円〈集英社〉

日本には七万以上の寺院が存在する。これらの建築様式は様々だが、その源流は奈良に見ることができる。全国の寺院建築の基礎は、奈良の唐招提寺、薬師寺、興福寺、東大寺にあり。建物の基本骨格や建築の基礎知識、各寺院の具体的な造られ方を、多くの図版や写真でわかりやすく解説する。今までになかった寺院鑑賞ガイド本。



講座 近現代日本の部落問題

- ◆1 近代の部落問題 (525頁)
- ◆2 戦時・戦後の部落問題 (541頁)
- ◆3 現代の部落問題 (545頁)

朝治 武、黒川みどり、内田龍史編・A5判・各6,600円〈解放出版社〉

全国水平社は、2022年3月3日で100周年を迎える。
この『講座 近現代日本の部落問題』全三巻は、これを記念して
発刊される論文集です。

第一巻「近代の部落問題」(担当:朝治 武)、第二巻「戦
時・戦後の部落問題」(担当:黒川みどり)、第三巻「現代の
部落問題」(担当:内田龍史)という、全三巻で構成。



法蔵館書店新着雑誌案内

◆同朋 4月号

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円〈東本願寺出版〉

「仏教がみちびく、あらたな人生」をコンセプトに、生活に密着
した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにあ
る大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

◎インタビュー セイン・カミュさん

(タレント・一般社団法人「障がい者自立推進機構」理事)

障害者アートの素晴らしさを、みんなにもっと知ってもらいたい。

◎特集 恋する気持ち

【新連載】・かもかも通信……本上まなみ ほか



◆大乘 4月号

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円〈本願寺出版社〉

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お
念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。研修会や
勉強会にも最適！ 門徒推進員の方にもおすすめです。

■目次

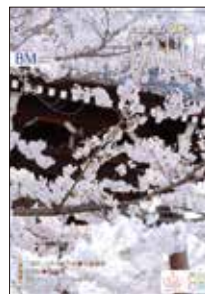
・釈徹宗の随縁探訪……ゲスト:入澤 崇さん

・マンガ お釈迦さま物語「菩提樹」……岡橋徹栄×一ノ瀬かおる

【新連載】・華遇記……藤井 真

・ご機言! お寺の掲示板……江田智昭

・DAIJOコラム フォーカス仏教ライフ 「構造的暴力」 ほか



特集1

『一遍上人』関連書籍 新刊発売特集

時宗の開祖、一遍上人。念仏を唱えながら踊る「踊念仏」や「札くばり」(賦算)など、独自の布教で全国各地を念仏遊行し、民衆にいかになくべきかを説きました。今月は、5月に弊社から一遍上人関連の書籍が3点刊行されることを記念した、「一遍上人関連書籍 新刊発売」特集です。

2022年5月刊行 予定

◆一遍語録を読む

法蔵館文庫

金井清光・梅谷繁樹著、長澤昌幸解説・文庫判・284頁
1,320円・ISBN:978-4-8318-2634-3(法蔵館)

一遍の徹底した「捨ててこそ」の実践と南無阿弥陀仏の教え。その思想的背景と生涯を法語から読み解き、巻末では一遍の和讃である「別願和讃」を『節用集』『日葡辞書』を駆使して詳論。時衆・時宗研究の入門書、待望の文庫化。



◆現代語訳 一遍上人縁起絵 全十巻

『一遍上人縁起絵』現代語訳研究会編・A5判・224頁・2,750円
ISBN:978-4-8318-7586-0(法蔵館)

時宗教団において、一遍と二祖他阿弥陀仏真教の正当な伝記として、国宝『一遍聖絵』よりも重要視される『一遍上人縁起絵』(『遊行上人縁起絵』)全十巻。その詞書のすべてをはじめ現代語訳。原文と詳細な語註も併せて収録。

◆現代語訳 他阿上人法語

『他阿上人法語』現代語訳研究会編・A5判・516頁・3,850円
ISBN:978-4-8318-7587-7(法蔵館)

時宗教団の宗祖一遍につづく二祖他阿弥陀仏真教が残した消息法語および和歌を収録編纂した『他阿上人法語』全八巻。そのうち、和歌を除く七巻のすべてをはじめ現代語訳。原文と詳細な語註も併せて収録。

◆一遍仏教と時宗教団

長澤昌幸著・A5判・340頁・5,500円
ISBN:978-4-8318-7509-9(法蔵館)

「捨ててこそ」を標榜し、遊行の果てに生涯を終えた一遍智真。遺された門弟はいかにその思想を継承したか。類書希少な時宗教学書。



構築された仏教思想8

◆一遍——念仏聖の姿、信仰のかたち

長澤昌幸著・B6判・181頁・1,760円(佼成出版社)

念仏札を携えて全国各地を念仏遊行し250万人に結縁。農民・漁民から武士層まで幅広い信仰を集めた。確かな歴史的裏付けのもとその独特な信仰姿勢を明らかにする。



◆一遍を生きる

ひろさちや著・四六判・205頁・1,650円(佼成出版社)

一遍上人の生涯と思想を紹介しながら、その生き方や考え方が現代に生きる私たちにどのような示唆を与えてくれるのかを解明する。「いかにして仏教を人生に活かすか」を長年探究してきた著者の思索の集大成。



人物叢書(新装版)

◆一遍(OD版)

大橋俊雄著・四六判・238頁・2,970円(吉川弘文館)

世に遊行上人といわれる一遍智真のはじめての本格的な伝記は、多年にわたる著者の研鑽による意欲的な労作であり、その生涯をわかりやすく解き明かす。



◆『一遍聖絵』の世界

五味文彦著・四六判・126頁・2,200円(吉川弘文館)

豊富なカラー図版で一遍の足取りを辿り、人びとの姿や動き、自然の移ろいに目をこらす。



特集2 『教行信証』関連新刊続々

教行信証化身土巻講義

◆親鸞の出遇った世界 浄土真宗Ⅱ

平野 修述、「平野修師講義集」編集実行委員会編
A5判・387頁・2,530円(真宗大谷派大阪教務所)

待望の第2巻刊行！ 1987年9月から1995年3月にかけて大阪教区教学研修院で行われた、平野修師の『教行信証化身土巻』講義全46回をまとめたもの。第2巻には1989年5月の第11講から1990年9月の第19講までを収録しています。



好評発売中！

教行信証化身土巻講義

◆親鸞の出遇った世界 浄土真宗Ⅰ

平野 修述、「平野修師講義集」編集実行委員会編
A5判・375頁・2,530円(真宗大谷派大阪教務所)



◆教行信証講話 オンデマンド版

大江淳誠著・A5判・746頁・29,700円(方丈堂出版)

本願寺派勸学・大江淳誠師による貴重な講義がオンデマンド版で復刊！

口述を録音して文字起こしする形で昭和32～33年にかけて出版された、全3巻の教行信証講話集。

待望の下巻発売！

◆解説教行信証 上・下

真宗大谷派教学研究所編・A5判・各4,180円(東本願寺出版)
上巻:468頁 下巻:360頁

上巻の発売から10年を経て、この度下巻も発売！『真宗聖典』所収の『教行信証』に基づいた書き下し文を上段、その現代語訳を下段に配置し、書き下し文中の難解な用語を簡単に説明した脚註、さらに詳しい説明を要する用語は巻末に語註を掲載。『教行信証』に親しんでいただく入門書としても活用いただける一冊です。



お知らせ

サイン入り!

海竜社の川村妙慶先生著書

数量限定
入荷!

昨年の版元倒産により入手困難となっていた川村妙慶先生の『あした元氣になあれ』『しあわせを呼ぶ108の智慧』が、このたび数量限定で入荷いたしました。しかも **川村先生のサイン入り**です！
買い逃していた方はお早めにお求めください。

◆あした元氣になあれ

——寝る前5分の、ホッとする法話 四六判・221頁・1,540円

コロナによって強いられた「新しい距離感」の中で、われわれはどう立ち振る舞い、思考することで、毎日を心穏やかに過ごせるのでしょうか。尼僧のアナウンサーが綴るこころの癒やし。



◆しあわせを呼ぶ108の智慧

四六判・221頁・1,540円

2000年から続く『川村妙慶の日替わり法話』の過去10年分から108話をより抜き、「お悩み相談」メールとともに書籍化。書き下ろしを加え20余年の集大成とも言える一冊。



◆ホッとひといき 川村妙慶のカフェ相談室

A5判・112頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2500-1

◆愛し愛されて生きるための法話

A5判・94頁・1,100円・ISBN:978-4-8318-8723-8

法蔵館のご著書も
サイン本ございます!

※ご希望の方は、ご注文時にサイン本希望とお書き添えください。

※上記以外のご著書をお買い上げの方にも、川村先生のサイン色紙を**限定20名様**にプレゼントいたします！ ご希望の方はご注文の際にお申し付けください。

今月の在庫僅少

◆濁世を超えて、濁世に立つ I～III

本多弘之著・四六判・各2,600円(海竜社)

東京国際フォーラムでの講演「親鸞思想の解明」全47回を編集して3巻に収録したもの。なくなり次第販売終了となりますのでお急ぎください。

- | | | |
|-----|---------------|------|
| I | 浄土—その解体と再構築 | 320頁 |
| II | 浄土—その響きと言葉 | 256頁 |
| III | 浄土—大いなる場のはたらき | 281頁 |



◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(3月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	生死出づべき道——コロナの時代、 私たちはいかに生きるべきか	一楽 真	真宗大谷派 大阪教区第十二組	200円
2	解説教行信証 下巻	真宗大谷派 教学研究所	東本願寺出版	4,180円
3	お寺の掲示板 諸法無我	江田智昭	新潮社	1,100円
4	【新潮選書】考える親鸞——「私は間違っている」から始まる思想	碧海寿広	新潮社	1,595円
5	溶け合う世界へ——南無阿彌陀仏のすくい2	瓜生 崇	響流書房	110円
6	浄土真宗とは何か——『教行信証』のころ	金子大榮	東本願寺出版	825円
7	真宗と現代葬儀——「葬儀」と「死」のゆくえ	蒲池勢至	法藏館	1,430円
8	ねえ、お坊さん教えてよ どうしてお葬式をするの？	岡崎秀麿 富島信海	本願寺出版社	1,760円
9	ねえ、お坊さん教えてよ 死んだらどうなるの？	岡崎秀麿 富島信海	本願寺出版社	1,760円
10	法話のきほん	伊東恵深	法藏館	1,430円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<http://www.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

- ◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。
- ◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料——450円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料
- ◆価格表示は全て税込価格です。

法藏館書店 友の会会員募集中!

友の会に入会すると、割引や来店特典など多数の特典をご用意しております。

詳しくはここをクリック

法藏館書店
友の会
 会員証

法藏館書店

住所: 〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
 電話: 075-343-0458 FAX: 075-371-0458
 発行人: 西村明高
 E-mail: shop@hozokan.co.jp

[営業日および営業時間]
 月～土: 9:30～18:00
 祝 日: 10:30～18:00
 (休業日: 毎週日曜日・お盆・年末年始)

<http://www.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



仏教書総目録刊行会 <http://www.bukkyosyo.gr.jp>

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!

twitter

facebook

つぶやき中～!

